

主要産地における令和元年産水稲の生育状況等について 第7報 (7月1日現在)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和元年7月1日)

道府県	区分	生育状況等	技術・防除・気象等関連公表資料(自治体、気象台等公表資料の抜粋)
		育苗・田植進行状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋) 平年に対する遅速等	
北海道	(生育)	(全道) 生育は、やや早く進んでいる。 (北海道農政課 6月15日現在) (空知) 生育は、やや早く進んでおり、分けつ発生も良好である。(空知総合振興局 6月15日現在) (石狩) 生育は平年に比べて早い。好天により、分けつ発生は順調である。(石狩振興局 6月15日現在) (後志) 草丈は長い。葉数は多い。生育遅速日数は5日早い。(後志総合振興局 6月15日現在) (胆振) 生育は平年並み。(胆振総合振興局 6月15日現在) (日高) 生育は平年に比べ2日早く順調である。(日高振興局 6月15日現在) (釧路) 好天により生育は進んでおり、分けつの発生も順調。(釧路総合振興局 6月15日現在) (根室) 生育は平年より早い。(根室振興局 6月15日現在) (上川) 生育の遅速は、平年並に推移している。(上川総合振興局 6月15日現在) (留萌) 生育は早く進んでいる。(留萌振興局 6月15日現在) (オホーツク) 生育は平年よりやや進んでいる。(オホーツク総合振興局 6月15日現在)	【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は平年並か低い見込み。 降水量はほぼ平年並、日照時間は日本海側で平年並か少なく、オホーツク・太平洋側で少ない見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台)
青森	(生育)	(6月20日現在の生育状況) ・黒石の6月20日現在の生育状況は、「つがるロマン」は草丈が38.4cmで平年より2.1cm高く、株当たりの茎数は15.7本で平年より1.5本少なく、葉数は7.8葉で平年より0.2葉多かった。 「青天の霹靂」は草丈が37.2cmで平年より1.9cm短く、株当たりの茎数は15.0本で平年より1.7本少なく、葉数は7.2葉で平年より0.1葉多かった。 (生育) ・十和田の6月20日現在の「まっしぐら」の生育状況は草丈が43.4cm、株当たりの茎数は376本だった。 (地独) 青森県産業技術センター農林総合研究所 6月24日付)	【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 東北地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は日本海側で平年並か少なく、太平洋側で少ない見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は、平年並か多い見込み。 (気象庁仙台管区気象台)
岩手	(生育)	(6月25日現在) ・農業研究センター(北上) 全品種とも、草丈、葉数、葉色(SPAD値)は平年を上回っており、茎数は概ね平年並みとなっている。 ・県北農業研究所(軽米) 「いわてっこ」では、草丈、葉数、葉色(SPAD値)とも平年を下回っている。 (岩手県農業研究センター 6月27日付)	同上
宮城	(生育)	(6月20日現在) ・県全体の水稲の生育は、葉数(平年差+0.3枚)から見ると平年に比べて2日程度早く進んでおり、草丈は35.4cm(平年比98%)、1㎡当たり茎数は432本(平年比109%)、葉色はGM値※1が42.4(平年差+0.1)となっている。 (宮城県 6月21日付)	同上
秋田	(生育)	(平 鹿) 6月25日現在の水稲定点調査(あきたこまち11か所)では、草丈33.1cm(平年比94%)、葉数325本/㎡(同比98%)、葉数8.5葉(同差+0.3葉)となっている。(6月28日付) (由 利) 6月25日現在の水稲定点調査結果(3品種・移植8か所平均)によると、草丈は36.9cmで平年よりやや短く(平年比98%)、㎡当たり茎数は460本で平年よりやや多く(平年比102%)、葉数は8.7葉と平年並み(平年差+0.2葉)。(6月28日付) (山 本) 6月25日現在の水稲定点調査(管内9地点、品種：あきたこまち)における生育状況は、草丈34.3cm(平年比95%)、葉数463本/㎡(同比122%)、葉数8.8葉(同差+0.2)、葉色45.2(同比103%)となっている。(6月28日付) (仙 北) 6月25日現在の管内のあきたこまちの生育状況は、草丈が36.1cm(平年比96%)、葉数は552本/㎡(平年比138%)、葉数は9.0葉(平年差+0.7葉)、葉緑素計値は43.7(平年差-0.2ポイント)。(6月28日付) (鹿 角) 6月25日現在の水稲定点調査では、草丈が34.2cmで短く(平年比92%)、㎡当たり茎数は505本でやや多く(平年比104%)、葉数は8.6葉で並(平年差-0.1葉)、葉色はSPAD値で45.9と並(平年比101%)。(6月28日付) (秋田県農林政策課)	同上
山形	(生育)	・6月20日現在の平組部「はえぬき」の生育は、草丈、葉数、葉色は平年並み、茎数は平年より多い状況である。 (山形県 6月26日付) ・6月20日現在の平組部「はえぬき」の生育は、茎数は多く、草丈、葉数、葉色は平年並となっている。 (山形おいしさを際立つ!米づくりプロジェクト本部 6月20日付) (最上) (6月20日調査) ・生育診断書の調査結果では、全品種で草丈からやや短く、葉数は並から多い状況。 一方で、葉数の増加が見られている圃場がみられる。(最上総合支庁農業技術普及課 6月21日付)	同上
福島	(生育)	・6月4日現在の農業総合センターの生育調査では、本部(郡山)と浜地域研究所(相馬)の茎数が多く、会津地域研究所(会津坂下)の茎数が少なくなっている。コンヒカリの主穂葉数からみた生育は、本部(郡山)で平年並み、会津地域研究所(会津坂下)で平年より2日遅れ、浜地域研究所(相馬)で平年より5日早まっている。 (福島県 6月10日)	同上

	生育状況等	
茨城	<p>(水戸市 5月1日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは3日程度遅い、コシヒカリ平年並、ふくまるは1日程度遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは最高分け時期、ふくまるは幼穂形成期。 <p>(水戸市 5月10日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) コシヒカリは2日程度遅い。 ・(生育ステージ) コシヒカリは最高分け時期 (茨城県農業総合センター 6月25日付) <p>(龍ヶ崎市 4月26日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは4日遅い、コシヒカリは1日遅い、ふくまるは3日遅い平年並。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期、ふくまるは幼穂形成期。 <p>(龍ヶ崎市 5月7日移植)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(対平年遅延) あきたこまちは6日遅い、コシヒカリは1日遅い。 ・(生育ステージ) あきたこまちは幼穂形成期、コシヒカリは節間伸長開始期。 <p>(茨城県農業総合センター 7月1日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結実病の発生が、北関東及び北陸で多いと予想されている。(農林水産省 6月12日付) ・いもち病(寒いもち)の発生量は平年並～やや多い予想。(茨城県病害虫防除所 6月27日付)
栃木	<ul style="list-style-type: none"> ・早稲栽培(品種:コシヒカリ) (6月21日調査結果) (11か所平均: 平年値\rightarrow欠、及び生育不良地点除く) <p>(生育)</p> <p>草丈は平年並(平年比100%)、葉数はやや多く(105%)、葉齢は平年並、葉色は0.3濃い、地域によりバラツキがあるが、葉齢から判断して生育は平年並と考えられる。生育診断値(葉色\times葉数)は平年比99%で平年並である。</p> <p>(栃木県 6月24日付)</p>	<p>同上</p>
千葉	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月2日に移植した「ふさおとめ」、「ふさこねが」は平年と比較して「並」～「やや早」となっており幼穂形成期を迎えています。また、4月20日に移植した「コシヒカリ」は6月19日頃(平年より2日早い)から幼穂形成期を迎え、追肥時期となっている。 ・5月1日に移植した「コシヒカリ」は平年並みの6月2日頃から幼穂形成期となる見込み。なお、4月植え「コシヒカリ」の一部のほ場では、過密状態で推移している。 <p>(千葉県 6月27日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p>
新潟	<p>(6月20日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コシヒカリは、指標値(生育のめやす)に比べ、草丈が「並」、葉数が「多い」、葉数の進みが「やや早い」、葉色が「並」の状況で、生育は2日程度早い状況。 <p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長岡市に設置した調査ほ場の早生品種つきあかり、ゆき子早舞、こしいぶきの葉数は、指標値に比べ、それぞれ「やや少ない」、「多い」、「多い」状況。(新潟県 6月21日付) (佐渡) コシヒカリの生育は、葉数が過剰となっている。(佐渡農業普及指導センター 6月20日付) (岩船) 草丈: やや短、葉数: 多(地域差・ほ場間差大)、葉数の進み: 並、葉色: 並(村上農業普及指導センター 6月20日付) (上越) 「コシヒカリ」の生育は6月中旬の低温で鈍化し、現在は草丈やや長、葉数並となっている。(上越農業普及指導センター 6月20日付) (南魚沼) (6月20日調査) 草丈: 並(36cm<103%)、葉色: やや濃い(SPAD値39.2<+1.2)、葉数: やや多(354本/m²<109%)、葉色: やや早い(8.1葉<+0.4)、(南魚沼農業普及指導センター 6月21日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6月18日に山形県沖で発生した地震により、農地14カ所(村上市、関川村、阿賀町)で田崩落、田面に亀裂。(新潟県 6月28日13時現在)
富山	<p>(本田での生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てんこもり 平年に比べ、草丈、葉色は並み、葉数は多く、葉齢は0.3葉多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、葉数はかなり多くなっている。幼穂形成期は、平年より2日早い6月27日頃と見込まれる。出穂期は、7月19日頃と見込まれる。 ・コシヒカリ 平年に比べ、草丈、葉色、葉齢は並み、葉数は多くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉色は平年並み、葉数は多くなっている。生育量(草丈\timesm葉数\times葉色\times1000)の平均値は113と平年に比べてやや大きく、また8から147とばらつきが大きくなっている。幼穂形成期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日程度早い7月11日頃と見込まれる。 ・てんこもり 平年に比べ、草丈、葉色は並み、葉数は多く、葉色はやや濃くなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈は平年並み、葉数は多く、葉色は濃くなっている。幼穂形成期は、今後、平年並みの気温で推移した場合、平年より1日程度早い7月13日頃と見込まれる。 ・富富富 前年に比べて、草丈はやや長く、葉数、葉齢、葉色は並みとなっている。葉齢を揃えて比較すると、草丈、葉数は前年並み、葉色は前年よりやや濃くなっている。幼穂形成期は、今後平年並みの気温で推移した場合、前年より1日程度早い7月12日頃と見込まれる。 <p>(富山県 農業技術課広域普及指導センター 6月25日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 北陸地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北陸地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁新潟地方気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・結実病の発生が、北関東及び北陸で多いと予想されている。(農林水産省 6月12日付)
石川	<p>(本田の生育 6月24日調査)</p> <ol style="list-style-type: none"> 出穂期(早生品種) 生育観測田における早生品種ゆめみづほで幼穂が確認されている(0.4～4mm程度)。ゆめみづほの出穂期は加賀地域で7月7日頃と近年より2日程度早く、前年並、能登地域(羽咋～中能登)では7月20日頃と近年より2～3日早く、前年並である。また、能登地域(奥能登～珠洲)の能登ひかりの出穂期は、平年及び前年並の7月24日頃と思われる。 草丈 ゆめみづほは近年比106%(加賀地域105%、能登地域108%)とやや長い。コシヒカリは平年比102%(加賀地域100%、能登地域104%)と平年並。ひやくまん数は前年比117%(加賀地域119%、能登地域116%)と長い。 m当たり葉数 早生は葉数の増加が緩やかとなっており、前年並に最高分け時期を迎えると予想される。ゆめみづほは、近年比113%(加賀地域116%、能登地域113%)と近年及び前年よりやや多い。コシヒカリは、平年比105%(加賀地域102%、能登地域108%)と平年並で前年よりやや多い。ひやくまん数は近年比132%(加賀地域109%、能登地域168%)と、加賀地域で近年並で前年より多く、能登地域で近年及び前年より多い。 <p>(石川県農林総合研究センター 6月25日付)</p>	<p>同上</p>
福井	<p>(生育)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5月2日植えのハナエチゼンでは6月25日(平年より2日早い)に幼穂形成期を迎えた。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月27日付)</p>	<p>同上</p>
長野	<p>(農業試験場八重森圃場(標高348m))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移植後20日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、葉数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。 ・移植後30日の生育は、「あきたこまち」「コシヒカリ」「風さやか」とともに葉数、葉数が平年値に比べ少なく、草丈は短い。いずれの品種においても生育の進展が平年、前年に比べても遅慢である。(長野県農業試験場 6月21日現在) (標高1017m原村の原村試験地における水稲生育状況) ・移植後20日調査では、いずれの品種も主稈葉数が平年よりやや少なく、葉数が平年よりかなり少ない。 ・移植後30日調査では、いずれの品種も主稈葉数が平年並みで草丈が平年よりやや短く、葉数が平年よりかなり少ない。 <p>(長野県農業試験場 6月26日現在)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 関東甲信地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁東京管区気象台)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木曾川では農業用水の20%取水制限中(国土交通省 6月24日現在)

	生育状況等	
滋 賀	<p>(6月10日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 5月上旬の気温がやや低く、強風による植え痛みもあり、初期の分けつはやや遅れたが、5月中旬～6月上旬の高温により、生育は旺盛になっている。(滋賀県 6月19日付) 	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 近畿地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は日本海側で多く、太平洋側で平年並が多い見込み。 日照時間は日本海側で少なく、太平洋側で平年並が少ない見込み。(気象庁大阪管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 近畿地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁大阪管区気象台)</p>
兵 庫	<p>(5月28日現在)</p> <ul style="list-style-type: none"> 東北 移植後、低温の日があり、本田での生育はやや遅れ気味である。 東南 苗の生育は順調である。 <p>(兵庫県 6月3日付)</p>	同上
岡 山		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 中国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 中国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁広島地方気象台)</p>
広 島		同上
愛 媛		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>・いちらんの発生量は平年並～やや多い予報(愛媛県 6月28日付)</p>
高 知	<ul style="list-style-type: none"> 早期稲 分けつ期。天候が安定していたため、生育は全般的に順調。 普通期稲 育苗～活着期。県全域で移植が始まっており、移植最盛期は各地区ともに5月第6半旬で、移植後の生育は概ね順調である。なお、嶺北の一部では冷水により、移植が遅れている地区がある。 <p>(高知県病害虫防除所 6月6日付)</p> <p>(生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 四国地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>・吉野川では農業用水の20%取水制限中(国土交通省 6月24日現在)</p>
福 岡	<ul style="list-style-type: none"> 早期水稲(夢つくし、コシヒカリ) 生育は順調で有効茎が確保され、中干し時期となっている。4月下旬植えの出穂期は平年より2～3日早い7月中旬の見込み。 普通期水稲(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど) 5月中旬～6月上旬植えは、移植後、高温で経過したため活着が良く生育は順調。 降雨が少ないため、一部地域では、移植後が平年に比べて3日～1週間程度遅れている。 収穫後でも移植が始まり、平坦地の「夢つくし」は6月上旬中旬、「元気つくし」は6月中下旬、「ヒノヒカリ」は6月中下旬が最盛期となる見込み。 <p>(福岡県農林総合試験場 6月14日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は多く、日照時間は少ない見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の平均気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>

生育状況等	
熊本	同上
宮崎	<p>(作物の生育状況) (6月中旬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 早期水稲は穂ばらみ期、普通期水稲は移植前後。 <p>(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 6月25日付)</p> <p>(生育)</p> <p>【向こう1か月の天候の見通し 6月29日～7月28日】 九州南部地方の向こう1か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多く、日照時間は平年並が少ない見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温はほぼ平年並の見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>
鹿児島	同上

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を米穀機構情報部で取り纏め。
注2：前期からの更新箇所は赤字で示した。
注3：令和元年7月1日13時時点での取り纏め。

参考・引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道 6月19日)、農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月19日)、**農作物の生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月19日)**、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月19日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月19日)、農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月19日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月19日)、農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月19日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月19日)、
作況調査報告(6月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日)、
令和元年度水稲生育定期調査結果No.3(6月14日現在)(岩手県農業研究センター 6月27日)、
令和元年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県農政部みやぎ米推進課 6月21日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月28日)、
当面の技術対策(7月)(山形県農林水産部 6月26日)、
米づくり技術情報No.7(山形おいしさを際立つ!米づくりプロジェクト本部 6月20日)、
稲作だより第7号(最上総合支庁農業技術普及課 6月21日)、
主要な農作物の生育情報令和元年度第3号(福島県農林水産部 6月10日現在)、
農研速報龍ヶ崎(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月25日)、
農研速報水戸(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 7月1日)、
令和元(2019)年度水稲生育診断予測事業速報No.3(栃木県 6月24日)、
水稲の生育状況と当面の対策第4報(千葉県農林水産部 6月27日)、
水稲の生育状況と今後の管理対策(第3号)(新潟県農林水産部 6月21日)、
稲作生育速報No.3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、コシヒカリ、こいしづき生育速報(上越農業普及指導センター 6月20日)、
岩船米生育速報(6月20日現在)(村上農業普及指導センター)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報No.2(南魚沼農業改良普及センター 6月21日)、
TACS情報第5号(富山県農業技術課 6月26日)、
令和元年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-5号)(石川県農林総合研究センター 6月24日調査)、
稲作情報No.9(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月27日)、
農業試験場水稲試験圃の生育状況(平成31年)(長野県農業試験場 6月26日現在)、
令和元年度水稲生育診断情報No.1(滋賀県農業技術振興センター 6月10日)、
兵庫県農業気象技術情報第2号(6月情報)(兵庫県 6月3日)、
令和元年度病害虫発生予察5月月報(高知県病害虫防除所 6月6日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 6月14日現在)、
平成31年度病害虫発生予報第3号について(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長 6月25日)、

病害虫発生予報7月号(茨城県病害虫防除所・茨城県植物防疫協会 6月27日)、
病害虫発生予報(7月)(愛媛県 6月28日)、
令和元年度病害虫発生予報第3号(農林水産省 6月12日)、

北海道地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日札幌管区气象台)、東北地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日仙台管区气象台)、関東甲信地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日气象台)、
北陸地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日新潟地方气象台)、近畿地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日大阪管区气象台)、中国地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日広島地方气象台)、
四国地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日高松地方气象台)、九州北部地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方向こう1か月の天候の見通し(6月27日鹿児島地方气象台)、

北海道地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日札幌管区气象台)、東北地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日仙台管区气象台)、関東甲信地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日气象台)、
北陸地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日新潟地方气象台)、近畿地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日大阪管区气象台)、中国地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日広島地方气象台)、
四国地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日高松地方气象台)、九州北部地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日福岡管区气象台)、
九州南部・奄美地方向こう3か月の天候の見通し(6月27日鹿児島地方气象台)、

令和元年度渇水状況について(6月24日現在)(国土交通省)、

新潟県報道資料 被害速報第17号(新潟県災害対策本部 6月28日)